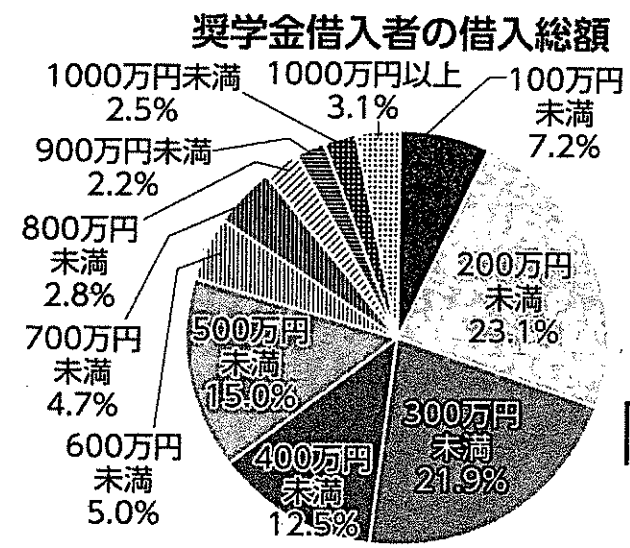


大学院生の 研究・生活実態

全院協アンケートから

「奨学金」という名の借金



約半数が、「奨学金」という名の借金を背負っています。

奨学金は58・4%が「利用経験がある」と回答（給付型、貸与型を問

全国大学院生協議会「2020年度大学院生の研究・生活実態に関するアンケート」から

わす。借入総額は、47・8%が「300万円以上」で、3人に1人となる35・3%が「400万円以上」です。（グラフ）

奨学金を利用しない理由（複数回答可）では、「利用する必要がない」は0%で、「借金をしたくない、返済に不安がある」が55・4%でした。

「申請したが採用されなかった」（19・7%）、「手続きが煩雑で申請間に合わなかった」（13・7%）も相当数ありました。

自由記述欄には「企業に就職していれば得られる数百万円の年収を捨て、自分で授業料を払うか借金までして博士課程に進学し、苦勞して学位をとっても就職できるかわからないという研究者の道を選ぶものはいないだろう」という声がありました。

（おわり）